

RADIO FMK TKU KKT KAB RKK

毎朝ラジオ
週末テレビ

RKK 「ふれあいくまもと」
 県からのお知らせを、わかりやすく直接担当がお伝えすることを心がけています。また、県内各地の行事や話題も追いかけています。キャスターは、西谷裕子さん。



FMK 「県庁ダイアリー」
 軽快なミュージックに乗せて、いろいろな情報をお伝えします。キャスターは、今村真理子さん。



TKU 「フラッシュくまもと」
 県内での出来事を、身近な情報として皆様に提供していきます。レポーターは、勝田麻吏江さん。



KKT 「くまもとの風」
 本誌のテレビ版。毎週テーマをひとつずつ取り上げ、切り口を変えてお届けします。レポーターは、小幡まさこさん。



KAB 「くまもとの彩」
 県民の方にもよく知られていない県内各地の自然や伝統文化を、美しい映像とさわやかな音楽でお届けする映像歳時記。

RKK RKKテレビは県政特別番組！
 じっくり御覧いただく30分もの(6本)。
 ON AIRに向けてたまたま制作中。

県では、県政広報紙KAZE(くまもとの風)の愛読者を募集しています。「くまもとの風」はくまもとの新しい動きやユニークな人、県下各地の催物などを、写真やイラストを織り混ぜてお届けする広報誌です。あなたも、この機会に「くまもとの風」で素敵な出会いを体験してみませんか。

■発行/偶数月発行 年6回 ■郵送料として/1,500円(郵便切手をお願いします)
 ■お申し込みは/〒862 熊本市水前寺6丁目18番1号 熊本県広報課「くまもとの風」係

愛読者募集

CONTENTS

- 1-2 風のコンパス ~地方の国際化~
- 3-8 特集 ~国際化~
- 9-10 トーク&トーク ~永 六輔さん~
- 11 くまもと情報Box 農業公園・くまもとの米づくり~
- 12 姜信子の韓国通信
- 13-14 シーン'90
- 15-16 風を探して ~ママさん探訪記~
- 17-18 熊本人物水路 ~根元・純化・鮎町~
- 19-20 熊本六街道 ~日向街道~
- 21-22 くまもと北から南から ~菊野明・瀧前町~
- 23-24 風の告知板
- 25-26 HOT LINE・さわやか〜ぜ

編集後記
 『熊本六街道』、その一回目として日向往還をたどってみました。普段は何気なく通り過ぎていた国道なども、歴史を重ねてみるとまるで違って見えるから不思議です。ふと「本道」からそれる道に気がついて、「ああ、時間の制約がなかったらなあ」とタメ息。

「くまもとの風」のご愛読、ありがとうございます。さて、六月号より、読者のみなさんや各方面からのご意見を参考にさせていただきます。企画内容を一新しました。編集員一同、県政の動きをはじめとして、多様な情報をできるだけタイムリーにお届けできるように心がけます。今後とも、益々のご愛読をお願いいたします。

●表紙イラスト 阿津坂雅弘

表紙のことば
 熊本県の顔である広報紙の表紙を描くことができ、光栄です。自分が小さい頃に感じていた素朴な熊本を表現していきたいと思っています。今月号は、梅雨という季節の雨あがりのさわやかさを、熊本の自然の美しさとともに表現しました。

●シーン'90 撮影のことば

長野良市
 左右から入ってくる光の中で黒光る柱と板張。特に朱塗りの二階の欄干とそれを支える錆びた鉄柱に八千代座の歴史を感じた。

H O T K A Z E

アンケート特集

K AZEは故郷の便り
 短い期間でしたが、熊本に勤務したことをたいへん楽しく思い出します。(東京、光森さん)
 時には帰郷の折り写真に記載の場所に行き実際に見学することもあります。(東京、津崎さん)
 故郷の風物に接し、県政の歩み、各種イベント等を通じ御発展の程を偲び、郷愁をかきたてています。(堺市、前田さん)

こ んなこと望みます、ちょっと残念です
 すばらしいグラフィカルなもので、我々県内のものだけでなく、県外の人々のアピールをもっと増やし、対外広報誌となることを希望します。(熊本市、上田さん)
 産業人には、熊本が産業に対してどんな将来像を持っているか、を知るにはものたりない感じがします。(東京、只野さん)
 大変編集に努力され、地域の情報がおもしろく拝見できますが、全体として固い感じがします。(東京、川井さん)

貴 重要な情報源になっています
 内外の情報を、新聞等マスコミとは違ったものとして与えて頂き、感謝しております。(熊本市、田辺さん)
 県外出身で、熊本県に在住13年目にあたります。教職という仕事柄、郷土熊本を知るため、KAZEをいつも楽しみにしています。また、県外者のひとりとして熊本の持つ精神風土に大変ひかれるものがあります。(熊本市、熊谷さん)

こ んなこと取り上げてください
 表通り、有名な人や物でなく、その地に行かないとわからない、目にすることが出来ない、小さな、ささいな事や物にレンズを向けてほしいですね。出張時にはカバンに入れて、県外の人に見せています。これが役所の本?と驚きの声が出ます。(八代市、奥田さん)
 東京の建物、風物、人情など急激に変わっていきませんが、熊本も例外でないと思います。年に一度ほど帰っても変わり方に驚くばかりです。変化の全体像ももちろんですが、街や建物や風物、それに人情などの細かい移り変わりを紹介していただければと思います。故郷を出た者には案外細かいところが強烈に残っています。それが郷愁の原点のように思われます。(東京、古荘さん)

K AZE 回覧しています
 公民館、町内会の文化活動に(熊本市、中村さん)
 町内の役員に回覧(熊本市、岩野さん)
 店頭(薬店)に(熊本市、宮崎さん)
 老人憩いの家に備え付けて町民に広く愛読されるように(熊本市、橋本さん)
 県外知人、友人など(熊本市、喰田さん)
 県外の友人たちに(熊本市、沼田さん)
 近くの県人の人に(奈良県、植村さん)
 青少年会館のヤングフロア(閲覧室)に(東京、全国勤労青少年会館)
 熊本県出身者の経営する飲食店に(東京、井本さん)
 亡くなった主人の仏前にも(埼玉、大川さん)
 兄弟、従兄などに(神戸市、平山さん)
 熊本出身の人に(兵庫県、原さん)

お便り募集

みなさんの身近な情報(出来事・季節の変化・風景・感想など)を200~400字程度にまとめてお送りください。
 (採用された方には「風テレホンカード」をプレゼント)



●あて先
 〒862 熊本市水前寺6丁目18-1
 熊本県広報課「くまもとの風」係
 ☎(096)382-9780

たくさんのお便りをお待ちしています。